

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成28年度第2回川西市障がい者自立支援協議会		
事務局 (担当課)	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課 (内線2656)		
開催日時	平成29年3月15日(水)午後1時28分~午後2時30分		
開催場所	ふれあいプラザ2階 歯っぴいルーム		
出席者	委員 (敬称略)	安田会長、西川副会長、田口委員、中谷委員、池田委員、聳城委員 秋山委員、植田委員、小泉委員、久保委員、蒲原委員、副島委員 平田委員 (欠席委員) 西中委員、佃委員	
	その他		
	事務局	根津健康福祉部長、岡本福祉推進室長、福丸障害福祉課長、竹下	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1.開会 2.協議事項 障がい者自立支援協議会のあり方について 3.その他 4.閉会		
会議結果	別紙のとおり		

## 審 議 経 過

会長	<p>開 会（午後 1 時 2 8 分）</p> <p>ただ今から「平成 2 8 年度第 2 回川西市障がい者自立支援協議会」を開会いたします。</p> <p>まず、委員の出欠をご報告いたします。ただいまの出席委員は 1 2 名です。西中委員、佃委員からは欠席する旨の届け出を頂いております。また、平田委員からは、遅刻する旨の届け出を頂いております。</p> <p>それでは、本日の「協議事項」に移ります。</p> <p>「障がい者自立支援協議会のあり方について」です。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>お手もとに配付しております「障がい者自立支援協議会のあり方について」と題する資料をご覧ください。</p> <p>昨年、1 2 月 1 4 日に開催されました本協議会におきまして、今後の協議会のあり方についてご協議いただきました。</p> <p>その際、1 番に記載しておりますとおり、本協議会の課題として 2 点を挙げさせていただきました。</p> <p>また、2 番に記載しておりますが、委員のみなさまからは、大きく 2 点のご意見を頂きました。</p> <p>1 点目は、個別支援の事例を通じた支援のあり方などを協議する相談支援部会を設け、その中で明らかとなった課題等を全体会議で協議するようにはどうか、というご意見。</p> <p>もう 1 点は、当事者が発言できる場として、当事者部会を設けてはどうかというご意見でございます。</p> <p>こうしたご意見を踏まえ、事務局で新たな協議会の構成について検討いたしました結果が 3 番に記載しております「見直しの方向性と課題」でございます。</p> <p>まず、方向性といたしましては、大きく 4 点ございます。</p> <p>1 点目は、「関係機関の連携強化」で、多種多様な関係者が参加できる柔軟な会議体とすることです。例えば、現在は、あらかじめ団体等からご推薦いただいた方を、市長が委員に委嘱する形をとっておりますが、中核となる出席者のみをあらかじめ定め、その他は、協議会を構成する関係機関や団体に対し、会議開催の都度、出席要請を行う方法も考えられます。</p> <p>また、2 点目として、「主体的なネットワークの構築」で、協議会の構成員が主体的に運営方針等を決定できるようにすることです。例えば、地域課題の集約や協議事項の調整等を行う「運営会議」を設置することが考え</p>

## 審 議 経 過

られます。

3点目は、「地域課題に即した協議の場」として、課題に応じ、関係する機関のみで協議する場を設けることで、例えば、前回の協議会でご提案のあった課題ごとの部会を設け、部会での議論で明らかとなった地域に共通する課題等を全体会議で協議するといった形が考えられます。

4点目は、「当事者や事業所の参加」で、地域の課題を的確に把握するため、当事者や障害福祉サービスを提供している事業所に、協議会に参加していただくことです。

次のページをご覧ください。

こうした方向で組織の見直しを行う場合には、いくつか解決しなければならない課題もあると考えております。

3点挙げておりますが、1点目は、あらかじめ委員委嘱を行わない場合、参加者が毎回異なることも考えられ、一貫性のある議論ができない恐れがあることです。

ただし、ここには記載していませんが、利点もあり、日程の都合で出席できない委員がいらっしゃった場合、現在は代理の方の出席を認めていませんが、委員委嘱を行わない場合は、協議会を構成する機関から出席が可能な方に出席していただくことができるようになります。

2点目は技術的な問題ですが、部会の運営について、会議招集の方法や交通費等の費用弁償をどのように取り扱うかということです。現在の協議会では、会議は協議会の会長が招集することになっており、あらかじめ委員委嘱を行っておりますので、委員報償費として定額をお支払いしております。

3点目は、当事者や事業所の参加について、公平性を確保しながら、どのように選定するかという問題です。

以上を踏まえまして、本日は、さきほどご説明しました見直しの方向性に対するご意見を頂きますとともに、こうした方向で見直すことについてご承認いただけるようでしたら、4番に「検討を要する事項」として記載しております4項目

1点目は、協議会の構成について、これまでどおり、あらかじめ委嘱を受けた委員のみで構成する協議会とするかどうか、2点目は、事務局機能について「運営会議」のようなものを設けるかどうか、3点目は、部会の設置について、部会の位置づけや部会のメンバーをあらかじめ固定するかどうか、4点目は、部会のメンバーをどのように選定するべきか、についてご協議いただきたいと思います。

次のページに、見直し後の協議会のイメージを図でお示ししておりますので、ご参照のうえ、よろしくご協議下さいますよう、お願いいたします。

## 審 議 経 過

会長	<p>説明は終わりました。</p> <p>本件につきましては、前回の本協議会においてご協議いただき、相談支援部会や当事者部会を設置すべきではないかというご意見を頂きました。</p> <p>これを受けて、事務局で具体化に向けた検討を行った結果、ただいまの説明にありましたように、いくつか、さらに検討が必要な事項があるということです。</p> <p>1項目ずつ検討していきたいと思いますが、まず、事務局が論点整理を行った、3番の「見直しの方向性と課題」について、ご意見、ご質疑等がありましたら、お受けします。</p> <p>ご質疑等はありませんか。</p>
委員	<p>中核になるメンバーの方はできるだけ固定メンバーが望ましいと思っています。先ほど言われましたように出席できない場合もあると想定されますので、増やすとしても正副二人くらいではないかと思います。</p> <p>全体会議の組織として運営会議と部会を設置することについては賛成させていただきます。</p> <p>以前メンバーとして参加させていただいたのですが、平成26年度に運営会議を設置させていただきまして、メンバーの中でいろんな課題を出し合って整理して、さあ部会を立ち上げようというところだったのですが、部会設置には至っていない状況になっています。</p> <p>部会につきましては、運営会議の方で、前回の協議内容を参考にしながら改めて整理分類して、どのような部会が必要かを検討させていただいて全体会議に上げさせていただく形で進めてはどうかと思います。</p>
会長	<p>運営会議の設置について賛成ということですね。</p> <p>3番の ~ とありますが、その点について何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>ずっと自立支援協議会がなかなか運営されてこなかったもので、この形で進めていただけるなら賛成です。部会の部分ですけども、最初は、相談支援部会が立ち上がっていますので、その中から、どのような部会が必要なのかというのは今後密に詰めていって、また全体会議にあげさせていただいて審議していただく必要があると思います。当事者や事業所の参加が必要な場合がきっとあると思います。そういった時に当事者の方の参加をどうするのか、課題のところにあがってくると思うのですが、他市の例もあわせて調べていく必要があると感じています。</p> <p>一足飛びに部会を立ち上げてしまった形から行くよりは徐々に一つずつ</p>

## 審 議 経 過

事務局	<p>ステップアップしていきながらしっかりとした形のものを作っていく方がよいと感じています。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ご指摘いただきましたように協議会を運営していく中で、より深く検討しないといけない課題というのが出てくるとお思いますので、それに応じて必要な部会を設置していくという形が望ましいのではないかと考えておりますので、よろしくお願ひ致します。</p>
会長	<p>他にございませんか</p>
委員	<p>先程おっしゃったように、中核になる方はいつものように決まっており、部会を開く時には、部会に委員として入る人が欠席の時は代理としても入れるという人を立てていくような感じでしょうか。</p>
事務局	<p>想定していますのは、今は、市長名で最初に誰々さんに自立支援協議会委員を委嘱しますというお願ひをして、そのメンバーでこの協議会をするという形をとっているのですが、そのように人を固定するのではなくて、この協議会を構成する組織として、例えば社会福祉協議会であるとか、各障害者団体であるとか、民生委員児童委員協議会連合会であるとか、そういった組織が集まって協議をする場という位置づけにする。その組織から誰かに出てきていただき、いろんな課題について話をさせていただくという形に変えていってはどうかという考え方でございます。</p>
委員	<p>今のご意見はいいと思いますが、幅がすごく広がるのではないかと思います。今お名前が出された中で、本当に議論として、何が必要であるかということがなかなか見えてこないのではないかと思います。だから、一つは障がい者に対してのとか障がい児に対してのことだから、障がいの種別で分けた部会を持つとか、将来的にとか、今現在困っていることなど議題がでてきて、それに対する委員をどのように集めて、みなさんがどのような意見を出し合ってそれを確信的に実質的に成功させていくかという方が、今事務局の方から言われた人数的な、いろんな民生委員さんとかそれは確かにいいと思うのですが、それはあまりにも広すぎるとお思いますけどうでしょうか。</p>
会長	<p>今言われたことは、次のページの課題の中に当然含まれると思いますが、</p>

## 審 議 経 過

委員	<p>課題についての解決はこれからだと思います。</p> <p>今、委員の方の選考についておっしゃったと思うので、広すぎるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>今後の協議会としては、簡単な図で書かせていただいておりますが、要は二層構造にしていこうということを考えておりまして、この全体会議というのが今日お集まりいただいている形と同じようなものになります。今はこれしかないということで、先ほどご指摘のありましたように、さまざまな機関からご参加いただいているのですが、全ての課題をこの全員の会議で話し合っていたとということになっておりますが、確かに専門的なものもありますし、幅広い課題がありますので、それをそれぞれ全体会議の下に専門的な部会をいくつか設けて、その部会でより深く議論していただく方が良いのではないかと、そこで話し合っていた結果を持ち寄っていただいて、全員で集まっていただく全体会議というのを持つような形にした方がより機動的といえますか、実のある議論を進めることができるのではないかとこのように考えております。</p>
会長	<p>先ほどの図の中で、全体会議があって運営会議があって各部会があるのですが、最終的な決議というか、決めるのは何処になりますか。</p>
事務局	<p>なんらかの協議会としての方針を決めていただくのは全体会議になると思います。</p>
会長	<p>今事務局の方から検討されている方向性と課題の説明がありましたが、こういう形でこれから進めていくのか、どうですか。</p> <p>前回の協議会でこういう部会を作ったらどうかという意見がでましたので、こういう形で出てきていただいているのですが。</p>
委員	<p>まだ日が浅いのでよくわからないのですが、この先に何があるのですか。この会議の先、意見をみんなまとめられてその先になにがあるのですか。それが反映されるのですか。</p>
事務局	<p>そもそも、この障がい者自立支援協議会の目的ですが、前回12月にお配りした資料に書かせていただいておりますが、この協議会は障害者総合支援法という法律にもとづいて設置しているものでございまして、その目</p>

## 審 議 経 過

	<p>的としては、地域における障がい者への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化や地域の実情に応じた体制の整備について協議するということを目的といたしております。したがって、日ごろから障がい者の支援や当事者、あるいはご家族、そういった障がい者にかかわっておられる様々な方にお集まりいただき、それぞれが日ごろ支援やあるいは当事者として感じておられる障がい者福祉の課題などを持ち寄っていただき、その中で共通するような問題とか、あるいは関係する機関が協力することによって一定の解決の道筋がつけられるのではないか、あるいは市や県、国に対してこういった施策をとってもらえないかといったような要望であるとか、そういった事をお話し合いいただく場であると考えております。</p>
委員	<p>最終的にそういった要望書とかに盛り込まれる事もあるということによるのでしょうか。</p>
事務局	<p>協議会としてどこかの機関にこういった事を要望してはどうかということについて決議をされましたらそういったこともできると思います。</p>
会長	<p>他にございませんか          みなさんのご意見では、協議会を構成する機関をあらかじめ定めておいて、開催の都度、その機関に対し出席要請を行う形でよいのではないかと          という事だと思いますが、そういう形でもよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p>
会長	<p>ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。          それでは、その後は私と副会長の方で事務局と検討を行い、今後の運営方法を決定していきたい、このように思っておりますので、よろしくお願          いいたします。</p> <p>次に(2)の事務局機能のあり方について、みなさんのご意見をお伺い          したいと思います。自立支援協議会の運営について、相談支援事業者の積          極的な関与が必要であるとしています。こうした観点から相談支援事業者          と市で構成する運営会議を設け実質的な事務局機能を担うことにするとい          うという考え方もありますがいかがでしょうか。</p> <p>次のページの検討を要する事項というところで、事務局機能をどうする          かということで先ほどの説明がありました。何かございましたら、よろ</p>

## 審 議 経 過

	<p>しくお願いいたします。</p> <p>先ほどの説明にあった中で、一番わかりやすいのは、4の(2)ですね。事務局機能のあり方というところで、これまでどおり市が事務局を担うべきか、あるいは中核メンバーによる運営会議が事務局機能を担うべきか、というところですが、みなさんのご意見はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今後協議の中でいろいろな話が出てくると思うのですが、資源の開拓とか地域生活支援事業の話なども出てくると思います。そうなってきますと、川西市に対して要望を上げていくような内容も想定されますので、事務局機能につきましては運営会議で担うことが妥当ではないかと思っていますし、またその取りまとめは、社協がやらせていただくのが一番良いのかなと考えています。</p>
会長	<p>他にご意見、ご質疑ございませんか。</p>
事務局	<p>ちょっと補足をさせていただきたいと思います。</p> <p>そもそもこの事務局のあり方というのは、この協議会の性格に大きく影響を及ぼすのではないかと考えておりまして、今日お配りいたしました資料の1枚目の1番にも書かせていただいておりますが、協議会の課題として、二つ目のところですが、障害者施策推進協議会との役割分担があまり明確になってないということがあるのではないかと考えておりまして、この障害者施策推進協議会というのは、まさにいわゆる審議会でありまして、市がなんらかの施策等を行おうとする時にご提案をさせていただいて、それに対してみなさまからご意見をいただくといったようなことが主な役割になっております。</p> <p>今の自立支援協議会もこのように市の方で議題を設定して皆様からご意見をいただくという形になっておりまして、いわゆる審議会的な運営になっているのが現状ではないかと考えておりますが、先ほど自立支援協議会の位置づけについて少しご説明させていただきましたように、本来想定されているのは、その地域にあります障がい者にかかわっているいろいろな機関が集まって主体的に障がい者支援の改善や社会資源の開発等に取り組んでいくということがこの協議会に法律上求められている役割と考えますと、市が一元的に事務局を担って協議事項の調整等をするよりもこの協議会の中から何人かのメンバーに入らせていただいて、どういうふうに協議会を進めていくか、何について議論するかということを決めていくという方法をとった方が本来の求められている役割を果たすうえで有効ではないか</p>



## 審 議 経 過

会長	<p>と考えまして、こういった見直しの方向性ということでご提示させていただいているところでございます。</p>
委員	<p>そういうことですが、何かご意見、ご質疑ございませんか。</p> <p>会議を運営していくにあたって一番懸念されるのが費用のところの関係があるのかなと。会議を増やせば増やすほど費用の方がかかってくる。部会の方に関してはまだ費用はかかってくるまでではないですからいくら開催しても問題はないんですけども、運営会議を開くと予算がからんでくるのかなと、その辺が勝手に動かしていいのかというところがあるのと、たぶん全体会議の中で議題をあげてそこから問題を解決していくのか、それにはどんな答えが必要なのかというのが本来の形だと思うんですけどもそれに対して私たちはどこまで費用の部分が、ここに議題にもあがってるんですけども、私たちはいらぬよと言っても、他の当事者の方のなかには生活保護を受けられていて、能勢口までの交通費が大変という方もおられるので、そういう方には支払っていかないといけないという問題もあると思うので、そのあたりはちょっと判断しにくいところかなと。</p>
事務局	<p>いわゆる委員報酬ですが、今は委員として委嘱をさせていただいておりますので、委員報償費をいう形でお支払いをさせていただいておりますが、その部分については委嘱をしないということになりましたら委員報償費としてのお支払いはできなくなりますので、金額については近隣市の状況等も調べて決めていきたいと思っておりますけども、いわゆる費用弁償的な性格になると考えております。</p> <p>それと会議が増えるというお話ですが、今は全体会議しかないのも、みなさんに集まっていたかなくてはなりませんので、そういう意味でも頻りに開催するのは難しいというのも一方ございまして、むしろ少人数の部会をいくつか作ることによって、その部会を中心にこの協議会を運営していくという方がより活発な議論をしていただけるのではないかと考えております。</p>
会長	<p>いまの説明で、先ほど指摘された費用の問題について、結局いままでもたいな報酬ではなく、費用弁償的なものになるということですね。</p> <p>これは先ほど課題のところの2番でも載っておりますが、どのように取</p>

## 審 議 経 過

事務局	<p>り扱うべきか、ということで。そういう形になっているということです。</p> <p>事務局を市の方が今までどおり担うのか、あるいは先ほど言ったように別にやるのかということですが、運営会議が事務局機能を担うというのはどうでしょうか。</p> <p>事務局に聞きたいのですが、運営会議が事務局機能を担うということになった場合は市の方の立場というか事務局としてはどうですか。</p>
会長	<p>要綱上は市の障害福祉課に事務局を置くという形にはなると思います。ただ市だけで決めるのではなくて何人か委員の方、決まった運営会議のメンバーと話し合いをしながらやっていきたいということでございます。</p>
委員	<p>ということは運営会議に事務局を置くといっても、その事務局は市の方がするということですね。</p> <p>みんな独立してしまうような感じを受けてしまうのですが、そういうことです。</p> <p>何かございませんか。</p>
事務局	<p>自立支援協議会の全体像というページですが、いろんな会議や運営会議で出た話とかそれを全体会議でもう一度また議論というかいろんなことを決めていくとおっしゃってたと思いますが、その運営会議の中でいろんな協議する議題を出した時に全体会議にその思いをしっかりと伝えていけるかどうか気になります。人が変わればまた違う考え的なこともありますから、この全体会議の人の中でもその運営会議に何人かが入るとか、そういうふうにしていく方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>全然違う人が入るわけでもないのですか。</p>

## 審 議 経 過

会長	<p>そしたらまず事務局機能のあり方というところについては相談支援事業者と市で構成する運営会議を設けて実質的な事務局機能を担う形で運営していく。運営会議でやっていくとは言っても実際には事務局は市が担当していく形ということによろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり。)</p>
会長	<p>よろしいですか。それでは、そのようにさせていただきます。</p> <p>それでは、あとの運営方法ですけども、これはまた先ほどと同じく、私と副会長と市の方の事務局とで検討して、どういうふうに行っていくか決めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。</p> <p>次に(3)部会の設置について皆様のご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>全体会議との関係や部会のメンバーの選定方法についてご意見をいただきたいと思っています。例えば全体会議との関係は、全体会議の構成員の中から部会長を選出し全体会議では部会長が部会での協議内容を報告する形が考えられると思いますが、いかがでしょうか。また、部会のメンバーについてはあらかじめ選定のうえ、全体会議で了承する形をとり、協議内容によって部会長は適切と考える機関に出席要請を行う形などいろんな形があると思いますが部会の設置につきましてみなさんのご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>部会を設置する場合、全体会議との関係をどのように整理するか、部会のメンバーもあらかじめ決めておくか、協議内容に応じて関係する機関のみが参加する形をとるべきか。</p>
委員	<p>部会を設置するということは、大まかに分けまして現在川西には4つの障害者団体があるわけですけど、それぞれの要望が正直なところ違うんですね、微妙に。協会なんかは就労している人がたくさんおりますから、そういうふうな分野でもっと作業所とか整備して欲しいという意向があるでしょうし、身体障害の場合にはやはりグループホーム的な何かそういうものを作ってほしいという要望があるでしょうし、むぎのめさんの場合なんかは普段は元気なだけどもなかなか世間の理解が得にくいような子供たちが多からどういうふうにしたらいいんだろうとか、こういうふうな格好で、育成会さんの方なんかもまたそれなりの意向があると思うのですが、部会を設置するというのはいいいんですが、じゃあその部会を一つだけの部会を設置して決まった日にその部会の方が何人が集まってくださって事務局の方と話すとなると何回も何回も部会をしないといけないから事</p>

## 審 議 経 過

	<p>事務局も大変だと思うんですね。会長さんもそのために来てたら大変ですよ、本当に。</p> <p>じゃあ4つの部会を一緒にして、4つの部会を同じ日に、同じ時間にやりましょうと言ったら、今とあまり変わらなくなっちゃうんですね。</p> <p>部会設置はいい考えだと思うんですけど、事務局なり会長さんなりの負担というか出席の度合いが非常に多くなりますので、理想からいうと部会ごとに部会から何人かの方が来られて、会長さんが来られ、事務局が来られ、地域の方々も民生委員の方とか、そのほか地域の人たちも何人か複数の方が来られるのがいいんですけど、そうすると回数が多くて大変だと思います。なんかそこらがうまいこと漠然とした方向・・・事務局が言われるのは分かるんだけど、なかなか部会設置は具体的にどんなふうに、じゃあ30分ごとに部会をして1時半から始まって、次は2時から始まって、次は2時半からはじめて、次は3時からやりましょうかなんていうと事務局の方も会長さんも同じことを何回も何回も言わないといけませんし、また、来られる地域の方々の関心のある分野とない分野があるでしょうし。</p> <p>いい考え方とは思いますが、現実はどうなんでしょうね、部会を設置するというのは。私はいいとは思うんですよ。でも実際にできるかどうかということですね、それを実のあるものが。</p> <p>他市の事例で言いますと、部会を設置していないところは、実はないようでして、基本的には部会を中心に運営していくというのが一般的な方法です。委員のみなさんの中には他市町の自立支援協議会の委員をされている方もいらっしゃるかと思いますので、もしさしつかえなければそのあたりの実状もご紹介いただければありがたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>猪名川町の教育支援部会の方でやらせていただいています。障がい別ではなくて共通した課題があると思うので、例えばくらしの部分であるとか働く部分であるとか、教育の部分であるとか、そういったところで部会が設置されています。それぞれの部会で年間計画を立てまして、だいたい猪名川町の場合は2カ月に1回くらい、年間6回ほどですか、教育支援部会の場合は参加させていただいているような状況です。それを全体会議の方に返していくというような形になっています。</p> <p>他にありませんか。</p>
--	---

## 審 議 経 過

委員	<p>私の方は家族の方が宝塚の事業所を利用しているもので、宝塚市の状況をご紹介します。宝塚市ではコスモスさんという家族会の方が実際部会の委員になって地域移行グループとか、地域生活グループとか、仕事部会とかっていうので、実際事例といいますか困っていることを話しつつ全体会の方も代表の方が1名参加されていて、その方を通じて全体会に話を伝えることによって実際に困っていることが解決していくということをされています。</p>
委員	<p>こやの里特別支援学校です。</p> <p>本校は伊丹、宝塚、猪名川、川西の方に参加させていただいていますが、川西以外、いずれも部会の方に所属しておりまして、だいたい教育部門です、こども部会でありますとか、そういったところに位置しておりまして、猪名川の方だけは去年から猪名川の分教室ができましたので、進路保障部会というところに差し替えられましたけれども、そちらの方に行っておりまして、どこの市町も部会を中心にその部会ごとに何かテーマを決めて一年間いろいろ協議を重ねるんですけども、だいたい年度末というよりは11月かそれくらいに全体会議の方でそれまでの協議内容を全部吸い上げるという事をされているようです。ですから部会の中で本当に具体的な話をされた事がきちんと代表者の口で伝えられている。全体会議が先か部会が先なのか知らないんですけども各部会のとにかく代表の方が寄り集まって全体会議を構成されるというところで、人が変わるということはないので、それであれば大丈夫かなと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>自立支援協議会はそれぞれの部会の中で話し合った結果をより広い範囲の全体会議でさらに議論を深めていくというような運営の仕方が一般的ではないかと思っておりますので、本市もそのような形にできればよいのではないかと思っております。</p> <p>それから、先ほど事務局負担のご心配をいただきましてありがとうございます。要綱上、障害福祉課が事務局として位置づけられると申し上げましたが、これについても他市町の例で言いますと相談支援事業者が事務局を担われている例も多いというふうに聞き及んでおります。国も自立支援協議会の中心となるのは、相談支援事業者が相談支援の現場で把握した障がいのある人を取り巻くいろいろな課題を持ち寄って、そこから関係する機関が知恵を出し合って課題の解決策を見出していくというのが協議会としてのあるべき形であると言っております、今後川西市においても相談</p>

## 審 議 経 過

	<p>支援事業所も複数立ち上がってきておりますので、基幹相談支援センターという中心になる相談支援事業所をつくっていくということも考えていかななくてはならないと思っております。そういうものができてきた暁には自立支援協議会の事務局をそちらの方に移していくということも将来的には考えられるのではないかと考えているところです。</p>
会長	<p>他にご意見はございませんか。よろしいですか。</p> <p>部会と先ほどから言っておりますけども、どういう部会が立ち上げられるかというのはこれからの話ですね。前は相談支援部会を立ち上げるのはどうかということがあってこういう話が出てきていると思いますが、どういう部会を立ち上げるかということはこれから検討していきたいと思えます。</p>
委員	<p>最終どれくらいの数の部会が立ち上がりますか。</p>
会長	<p>それもこれからです。</p>
委員	<p>あまり多くなると...</p>
会長	<p>それはまた市の事務局と相談しながらやっていかないと、集約できるところは集約していくようにしていかないといけないと思います。今後のことですが、そういうことも全体会議で決めて、部会長を選出して部会長の判断により各部会をやっていく。そして各関係機関の出席をお願いするというような形で運営していきたいと思えますがよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり。)</p>
会長	<p>それではそのようにさせていただきます。</p> <p>先ほども申しましたように、どのような部会を作るかなどは、私と副会長で市の事務局と相談して決めてまいりたいと思えますのでよろしく願いいたします。</p> <p>次に(4)当事者や事業所の参加についてでございます。</p> <p>何かご意見ご質疑がございましたらよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>部会が設置された場合、どうしても当事者や事業者の話聞く場合があるもあるでしょう。だからいいと思えます。</p>

## 審 議 経 過

会長	<p>事業者も参加するとしたら個々で参加する形をとるのが、なにか決めておかないと収拾がつかなくなるので、ある程度決める必要があると思うのですがどうでしょうか。</p> <p>障害者団体から推薦をいただくとか決めておかないと、どうですか。</p>
委員	<p>部会という部分のものを考えていって、そして4番のような事を当然考えていくのが筋だと思うのですが、そういうふうになると現在年に1回行っております各会ごとの市に対する要望書との違いはどんなものがありますか。市に対する要望書の場合は副市長さんがたいていは来てくださいます。そして川障連の方の全体会議の時は市長さんがだいたい来られるのが恒例のようになっております。年に1回各会から副市長さんを囲んで行う陳情ですが、それとこれとの違いはあるのでしょうか。</p>
会長	<p>要は部会を開いて何かの結論を導いたときに、最終的には協議会で決めるのですが、その辺のところ、今実際に各団体がやっていることとどこが違うのかということですが、どうですか。</p>
事務局	<p>各4団体それぞれ抱えていらっしゃる課題も異なりますので、それぞれと市政懇談会という場を毎年設けさせていただいてご要望やご意見をお伺いしているところですが、自立支援協議会というのは行政に対する要望もできると申しあげましたけれども、それが目的の会議ではもちろんありませんので、基本的には関係する機関が知恵を出し合って解決策を見出していく場だと思っておりますので、そもそも障害者団体の皆様が行政に対して何らかの要望等をされることとは、本質的には違う会議の場であろうと思っております。</p>
委員	<p>要望書の場合は各会の方からこんなふうなことをして欲しいという希望を出し、こちらの方はもう一段高い立場から川西市の障がい者問題でその4つの要望がそれぞれ違うけれども川西市の一段高いところの福祉政策としてはどうあるべきか、ということを検討するという格好になると言われるということでしょうね。</p>
会長	<p>当事者や事業所の参加という項目を今話しているのですが、先ほど各団体から推薦していただくやり方、あるいは多くの市民から公募するやり方、いろんなやり方があると思うのですがそのへんは皆さんどうですか。募集しても関係ない人が来ても分からないでしょうから、各団体から推薦して</p>

## 審 議 経 過

委員	<p>もらう形がよいのではないでしょうか。</p> <p>運営会議が立ち上がったら、その課題・・・先ほど事務局のおっしゃってみたいその問題を解決するための部会、基本は、その問題を解決するためには何が必要かを市にあげるとい、その両方ではなくてそちらになってくると思いますが、課題等が出てくると思いますので、その課題に沿った方々に募集をかけたいということだと思っんですね。そうなったら各当事者団体の長の方に依頼をかけるであるとかその団体に加入されてない方の問題提起であれば公募でいう形になると思うので、それを今決めてしまうよりは何を検討するか、どんな部会が必要かの順番になってくるのかなとは思っんですけども。</p>
会長	<p>検討する項目によって変わってくるということですね。</p> <p>他にございませんか。今こういった意見が出ましたけども。</p> <p>それでは当事者や事業所の参加という項目ですが、検討する項目が今決まっておりますので、すみませんが、また私と副会長と事務局のほうで相談させていただいて決めていきたいとこのように思っておりますがよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり。）</p>
会長	<p>ありがとうございます、それではそのようにさせていただきます。</p> <p>それでは、「障がい者自立支援協議会のあり方について」の協議は以上で終わります。</p> <p>以上で、本日の協議事項はすべて終わりました。</p> <p>次に、「その他」ですが、この際、委員の皆さまから何かございましたら、ご発言下さい。何かご意見とか何か聞きたい事とかありましたら言っていただければ結構ですが、何かございませんか。</p>
委員	<p>川西の中で障がい者に向けて一番何を考えて進んでいくかってことが私たち会議やいろんなことをやっていて見えない。だから行政の方からも今障がい者に対する課題が一番大きなものはこれであるとか、これに向かってやってるとかいろんなことをちょっと教えていただけませんか。</p> <p>行政が考えている障がい者っていうのは大きいから、これも考えてる、あれも考えてるっていうものの順番があると思っんですね。先ほど言われ</p>



## 審 議 経 過

事務局	<p>たようにみんな要望が通るかってそうじゃないと思うので、市として障がい者に対する一番大きな目線として何を考えているかっていうことはどうなのでしょうか。</p> <p>ご指摘のように、障がいという概念も非常に大きくなってきて、従来より広い範囲でとらえられるようになってきておりますし、またそれに伴って課題というのも非常にさまざまで、複合的な課題というのも増えてきているのではないかと思いますけれども、大きく言いますと中心的に考えていけないといけないのは、それぞれ生まれ育った地域でお亡くなりになるまで安心して暮らしていくことができるような支援のあり方というのを整備していかななくてはならないというのが一番大きな課題だと思っております。例えばご家族が亡くなられた後の暮らしの場であったり、その暮らしの場での日常生活や社会生活を営んでいくためのサービス提供の体制を整えたり、そういったことが一つは大きな課題ではないかと思っております。</p> <p>もう一つは社会生活を営む上では先ほどもご意見がありましたけれども、働くということも必要なことですので、そういった障がいのある人が働けるような就労支援というのも大きな課題だと思っております。</p>
委員	<p>今、委員がおっしゃられた事ももっともな話だと思いますが、それはこの自立支援協議会の会議ではなくて、1番の2つ目にあるように「障害者施策推進協議会」というランクが一つ高い方の話になるのではないかと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>ランクが上とか下とかではないのですが、協議会というのは実質的なことで、もっと根本的な施策というものは上の「障害者施策推進協議会」というのが年に何回かありますので、これがここに書いてあるとおり、役割分担が不明確とありますが、この不明確なのが今の質問なされたことにも関連してくるのではないのでしょうか。ランクがどっちが上でどっちが強いのかという話ではないですが、もう少し二つの会が自立支援協議会というのが実質的なことで、今さっき言われたように当事者とか障害福祉サービス事業所などとか民生委員の人も入れていると話しましょうというのが今やっている自立支援協議会のあり方のような気がして、もう一段高い立場から他市に比べて川西市の福祉施策が非常に遅れているとか、こういうふうにもっと考えようとか、市議会の方へもアタックして予算をたくさん取ろうとか、そういうふうな施策推進協議会ってものとの違いですよ。私もこのメンバーの方もほとんど同じ方が出ておられるからなおさらややこしいですよ。違う方が出ておられたらいいのですが、案内</p>

## 審 議 経 過

会長	<p>が来たとき今度のこれはどっちやと思うんです。</p> <p>事務局、今言われているように、障がい者自立支援協議会と障害者施策推進協議会の違いを説明してもらえますか。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいたとおりだと思っております、委員の皆様もだいたい半分くらい共通しているところでございます。</p> <p>違いですが、施策推進協議会は委員もおっしゃいましたように、川西市としての障がい者施策の重要な問題についてご協議をいただく場として、例えば、今後3年間の障害者施策の方向を定める障がい者福祉計画という市の計画がありますけれども、この計画の内容についてご協議いただくとか、あるいは新年度からになります、障害者差別解消法という法律が昨年できましたけれども、この法律の中に差別を解消していくための地域での取り組みといったことを協議する場を設置することというのがあるんですけれども、そういった障がい者差別を解消していくための取り組みについてご協議いただくとか、そういったことが障害者施策推進協議会の役割だと考えております。</p> <p>一方、自立支援協議会につきましては、相談支援の現場で把握された障がい者が日々お暮しになっていく中での課題等を実務レベルの具体的な課題の中からそれを改善していくための方法について関係する機関が集まって検討していく。例えば、制度面での運用の改善が必要であれば、こういうふうに改善していったらどうかということを行政に提案していくとか、そういった役割が求められているのではないかと考えています。</p>
会長	<p>先ほど委員から言われたように、今一番何が福祉施策の中で重点かというのは、新年度に策定される障がい者福祉計画の中にある程度出てくると思いますが、やはり実際にいろんな団体さんなんかはちょっと見えないから、どうなっているのかという意見が出てきていると思いますので、新しい計画が出てきたときにはみなさんにお知らせして、川西の重点課題はこうだと知らせる必要があると思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>(「なし」の声あり。)</p>
会長	<p>なければ事務局から連絡事項をお願いします。</p>

## 審 議 経 過

事務局	<p>本日は、お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございました。</p> <p>皆さまの任期に係る障がい者自立支援協議会は、本日が最後の会議となります。</p> <p>本日ご協議いただきましたように、新年度から、新たな体制で障がい者自立支援協議会を運営していただけるよう、今後、詳細を正副会長と詰めさせていただきたいと思います。</p> <p>市といたしましても、関係機関の連携が円滑に図られますよう、本協議会の運営を引き続きサポートさせていただきたいと考えておりますので、今後とも、折に触れ、ご指導、ご鞭撻を頂ければ、幸いに存じます。</p> <p>どうも、ありがとうございました。</p>
会長	<p>以上で、本日予定しておりました議事は、すべて終了しました。</p> <p>これをもちまして、平成28年度第2回川西市障がい者自立支援協議会を閉会いたします。</p> <p>どうも、ご苦労さまでした。</p> <p>閉 会（午後2時30分）</p>